

頓、農場周囲を消毒等により、農場近くにイノシシやウイルスを近づけないような衛生対策が重要です。山林からウイルスを持ち帰ることを防止するために、山に立ち入る山林作業や観光客に対しては、ポスターなどで注意喚起を行なっています。

飼養豚における発生状況や野生イノシシの検査・ワクチン散布状況等、豚熱に関する最新の情報は農林水産省のホームページ上で確認することができます。

<https://www.maff.go.jp/syouan/douei/csf/index.html>



特1-4図 ハイカー向け注意喚起ポスター



特1-5図 豚熱感染イノシシ生息エリアの養豚場における衛生対策

豚熱感染イノシシ生息エリアの養豚場における衛生対策のポイント

- 農場周囲の消毒等
 - 農場周囲の餌場となりやすい場所や雑木林などのイノシシが隠れる場所の伐採・整理整頓
 - 柵外側の定期的な消毒等により農場にイノシシ・ウイルスを近づけない
 - 農場内へのウイルス侵入を想定した衛生管理区域内の定期的な消毒
- 離乳舎における衛生管理
 - 畜舎内用の①長靴の履き替え②衣服の更衣、③畜舎立ち入り時の手指消毒、④畜舎に持ち込む資材の消毒
 - 畜舎ネズミ等の侵入防止のため、壁や天井の点検及び修繕
- 消毒液濃度及び交換頻度
- 知事認定獣医師の教育
- 山林等に入った際の注意

有機物の存在を前提にした適切な濃度の消毒液、踏込消毒槽は1日1回は交換
ワクチン接種のみならず衛生管理の指導を担えるよう家畜保健衛生所との連携体制を構築
山林からウイルスを持ち帰らないため靴・衣服の土を山で落とし、帰宅後直ちに洗浄



出典：令和3年12月7日 牛豚等疾病小委員会・拡大豚熱疫学調査チーム 群馬県前橋市・桐生市での豚熱発生状況を踏まえた提言